

金町工場従業員に請ふ

労働課

ある總同盟に復歸せよ！

諸君、労働課員諸君、願れば我々が一昨年未労働組合に加入して金町支部を組織したのは一つに日本労働總同盟を信頼し之れを力としたからであつた。然るに、山根、岩内君等の小數幹部は我々支部員に何の相談もしないで専断にも、日本労働總同盟を脱退してエタノの分らぬ無力な日本労働組合同盟なるものを作つた。當時我々は直様その不都合を組織して即時總同盟に復歸す可きであつたのであるが、工場内に二派を生じては残念だと考へて忍んで居たのであつた。

諸君、組合同盟に行つてから何の利益を得ましたか、支部は日に衰へ殆ど有名無實のものとなつて何の活動も出来なくなりました。それは實力のある總同盟を脱退した當然の成行きであつたのです。一方日本労働總同盟は之れに引替へ日に發展して會員五萬を算へ殊に日本労働總同盟紡織労働組合は既に七千餘名の會員を有し、東京モスリン吾婦工場、同沼津工場、同沼津工場の全員、東洋モスの約百名、伊藤薬工場全員、大日本紡織工場七割、富士紡川崎工場の三割、尙金町工場の約二割を組織して益々發展を見んとして居ります。之れ明に總同盟會長鈴木文治氏を初め幹部の指導宜しきを得て居る證據であります。最近の大日本紡織争議の如きも日本労働總同盟幹部の指導なればこそあの様な大成功を収めたのであります。

斯様な情勢を見るに付けて遂に先月下旬當支部長新添君、小倉君、山本君等その他の幹部の間にも總同盟復歸の意見が一致したのであります。そして山本君はそれ等の幹部の代表として總同盟本部を訪問して復歸を申出たのであります。そして我々は非常な意氣込と希望を以つて當支部の復活の爲めに努力し、會員も最近續々として増加を見たのであります。

所が組合員から會費を取る事のみで何もしない組合同盟の幹部は、ゴロツキが繩張を浸された様な驚き方で周章狼狽してビラ撒きを初めました。そして前記の様に全部の幹部と相談の上で總同盟復歸の運動を起した山本君を、中傷しこれを誹謗して居ります。何と云ふケチな量見でしょう。前幹部永井君その他によくない事であつたのは御氣の毒ながら事實である。だから會社からも讒にされたのです。しかしその責任は唯にあるか、之れ等は實に組合同盟の幹部山根、岩内その他の墮落幹部の感化と影響から來て居るのです。山本君はその當時から幹部であつたが、同君は一人正しかつた爲めに今まで何の所罰も受けないで居るではありませんか。何と云ふ卑怯な惡宣傳をする人達でしょう。

組合同盟の人達のビラを見ると來月早々には要求を提出すると書いて居ります。従業員諸君こんな兒供欺しのビラで我々を釣らうなんて何と云ふ我々を馬鹿にしたやつでしょう。元より我々は労働條件の改善の爲めに組合を作るのであるが、要求を出すのが目的ではない。我々は要求を提出したり、争議を起さなくても平和の裡に労働條件を改善する事の出来るに足るだけの強い信用のある、基礎のある組合を組織する事が第一であります。基礎のある強い組合であつてこそ要求の容れられぬ時に力強い戦ひをしてその目的を貫徹する事が出来るのです。それは即ち日本労働總同盟であります。來月初めに要求を出さずから入會せよと勧誘する様なタソケタ組合同盟が何の要求を出せるのですか出してもその目的を達する事などは思ひもよらぬ事です。

従業員諸君、組合を組織する以上は、日本で一番信用のある、基礎の確實な、一等古い歴史を持つ鈴木文治氏を會長とする日本労働總同盟に加盟す可きであります。

懐しき總同盟に！
力強き總同盟に！
日本労働總同盟に復歸せよ！
昭和二年十月廿六日

日本労働總同盟紡織労働組合

- 金町支部
- 吾戸第一支部
- 沼津支部
- 川崎支部
- 橋本支部
- 各工場支部
- 東京モスリン金町工場支部

日本労働關東労働同盟會

東京芝三田四國町
電話高輪三二九〇番

